



12月

3月

定例会は
年に4回

9月

6月

令和4年
12月定例会

朝来市議会

議会だより

第84号

2023(令和5)年2月3日発行

創立50周年



Elementary School 2022

■ 第8回(12月)定例会

補正予算(12月定例会分).....	2
議案審議/特別委員会設置.....	3
補正予算(10月臨時会分).....	4
賛否の状況.....	5
委員会報告・調査報告.....	6~8
市政を問う(一般質問・緊急質問).....	9~17
ようこそ朝来市へ/日程(3月定例会).....	18

糸井小学校

創立50周年記念事業(人文字)の様子

12月定例会が、11月30日から12月26日まで27日間の会期で開かれ、条例の制定及び条例の一部改正、指定管理者の指定、令和4年度補正予算等が提案されました。

補正予算については予算決算特別委員会、ほかは、それぞれ所管の常任委員会で審査を行いました。

また、最終日には1件の意見書提出について文教民生常任委員長が発議し、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算

長引くコロナ禍と 物価高騰に対応

令和4年度一般会計補正予算について、第6号では1億3370万円を、第7号では1億850万円を現計予算額に増額し、歳入歳出の総額をそれぞれ212億7660万円とするものです。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

質疑

問 指定管理施設は、どれぐらい電気代が上がっているのか。その部分に、どう対応するのか。

答 今回補正予算を計上しているのは全て高圧の施設。指定管理施設の多くは低圧であり、それぞれの施設の状況を確認し、必要があれば今後の補正で対応する。

問 農業生産コスト低減緊急対策事業について、今回導入される機械は非常に有効になると期待できる。どのような機械で、こういった効率化や労力軽減ができるのか。

答 生産コスト低減に資する機械であると認識。導入効果等については委員会で資料を提出する。



▲スマート農業で
コスト削減へ

問 小学校・中学校維持管理事業について、アクリルパーテーションが、どのような経緯でさらに必要になったのか。

答 現在、給食については、アクリルパーテーションを設置している状況。破損等で不足が生じるため、追加して対応していく。



▲安全で楽しい給食を



(補正予算第6号)



(補正予算第7号)

補正の主な内容

- 農業生産コスト低減緊急対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,807万4千円
(農業者等が導入する生産コストの低減に資する機械の費用に対する補助金の追加)
- 小学校・中学校維持管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,502万8千円
(市内各小中学校が児童生徒及び教職員等の感染症対策に必要な物品を購入するための備品購入費及び燃料価格高騰に伴う電気代の不足見込相当額の光熱費等の追加)
※中学校においては、近畿、県等上位大会への出場に伴う部活動振興補助金の追加を含む
- 妊娠・出産包括支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,664万円
(安心して出産・子育てができる環境づくりを進めるため、妊娠期から出産・子育てまで一貫した相談・支援を実施するための交付金等の追加)

朝来市消防団の定員、任免、服
務及び給与等に関する条例の一
部を改正する条例制定について

団員の報酬が上がります

消防団員の処遇を改善するた
めの報酬額の改正及び出勤報酬
の創設等を行うため、所要の条
例整備をしようとするもの。

総務常任委員会で審査し、全
会一致で原案のとおり可決しま
した。

質疑

問 消防庁からの消防団員の処
遇改善についての通達（令和3
年4月）が基になっていると思
うが、この通達の中には、報酬
の団員への直接支給の徹底とい
う内容があったと記憶している。
消防団員への報酬を消防団員個
人へ直接支給することについて、
現在どのような議論をされている
のか。

答 報酬の直接支給についても
消防庁からの通達に含まれてい
る。報酬については、本来、役
務に対する給付であり、消防団

員の献身的な活動に報いるため、
直接支給を検討している。今後、
消防団には十分な説明を行い、
活動実績に基づいた消防団員個
人への直接支給を来年度から進
めていきたいと考えている。

年額報酬		出勤報酬	
階級	支給額	出勤種別	支給額
	～令和4年度 令和5年度～		～令和4年度（出勤手当） 令和5年度～（出勤報酬）
副分団長	37,500円 45,500円	■あらかじめ日時を定めて出勤する職務	1回 1,500円 1回 2,000円
班長	29,500円 37,000円	■発生が予見できずに出勤する職務	1回 1,500円 4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円
団員	24,500円 36,500円		

※分団長以上の支給額については変更ありません。

▲報酬の改正内容について

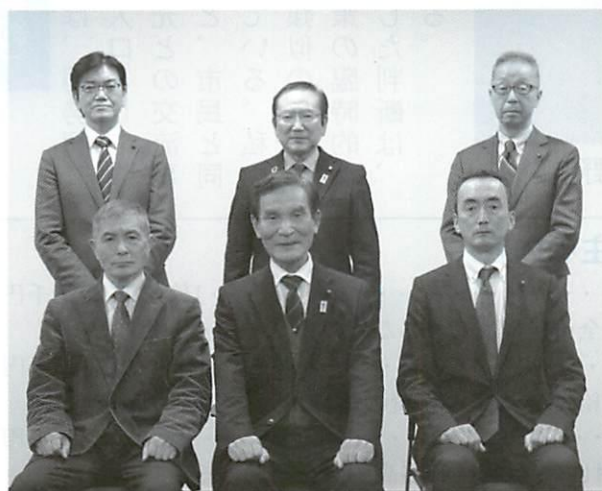


（議案第58号）

新たな特別委員会を設置しました

- ① 設置の目的
朝来市自治基本条例第32条に基づき、朝来市自治基本条例の検証及び検証に関する調査、研究を行う。地方自治法第109条の規定に基づく特別委員会とする。
- ② 委員会の性格
朝来市自治基本条例検証特別委員会
- ③ 委員会の名称
委員長 足立義美 副委員長 藤本邦彦
- ④ 委員の定数（6名）
委員 藤原正伸 委員 森田龍司
委員 横尾正信 委員 瀧本稔
- ⑤ 付議事件
朝来市自治基本条例の検証及び検証に関する調査、研究
- ⑥ 委員会の設置期間
検証及び調査、研究が終了するまで
- ⑦ その他の要件
議会閉会中も継続して検証及び調査、研究を行うことができる。

朝来市自治基本条例 検証特別委員会



藤原正伸
横尾正信

瀧本 稔
足立義美
（委員長）

森田龍司
藤本邦彦
（副委員長）

10月臨時会が27日に1日限りで開かれ、補正予算1件が提案されました。予算決算特別委員会で審査され、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算

幅広い生活支援と 事業継続を応援

令和4年度一般会計の補正予算(第5号)は、現計予算額に3億8800万円を増額し、総額211億2,440万円とするもの。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

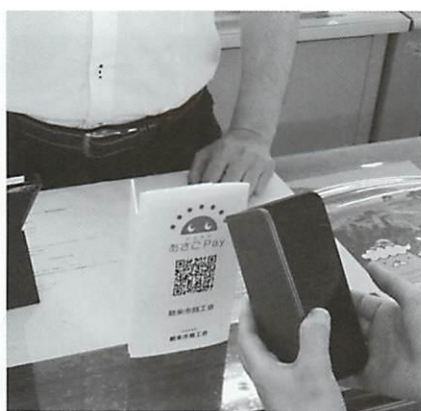
質疑

問 中小企業者等緊急経済支援事業(あさごPay追加発行事業)について、6月補正で追加された、いわば第1次のあさごPay事業をどのように総括しているか。今回、発行総額が1桁違う大きさに膨らんでいるが、その理由は。

答 6月補正分については、10

月に売出しを開始した。想定以上に多くの方にお買い求めいただき、3日間で完売するような状況であった。年末年始に向けて、市内の事業者の支援も含め、一層の消費喚起を図っていきたいと考えている。

問 年齢制限は特にならないのか。年齢制限なく利用できる。



▲大好評のあさごPay

問 企画一般管理事業(私立学校物価高騰対策支援補助金)について、市民の方が利用していない施設に公金を投入することが本当に正しいのか。

答 赤字補填ではなく、エネルギー、食料品等高騰についての補助をするということでご理解いただきたい。

委員会の意見(要約)

生野学園の生徒は、国勢調査においても本市の人口として数えられており、地元との交流事業に参加されるなど、市民と同様の生活を送られている。私立学校への県からの類似の支援はなく、物価高騰対策の臨時的な支援を行うこととした判断は、政策的に妥当である。



▲栃原区に立地する学校法人 生野学園



(補正予算第5号)

その他の主な内容

- あさご元気応援券配布事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億5,810万6千円
(市内対象店舗で使用できる商品券5,000円相当分を全市民に配布するための委託料等の追加)
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業・・・・・・・・・・1億6,027万5千円
(住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり5万円の給付金及び事務費の追加)
- 飼料価格高騰対策支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・957万5千円
(飼料価格の高騰により影響を受けている畜産農家に対して、粗飼料価格高騰分を補助する補助金の追加)
- 特産品購入促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,330万円
(観光産業の再活性化策として、市内特産品販売店を対象とした商品券の発行事業に係る委託料の追加)
- 給食センター運営管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,900万円
(子育て世帯への支援対策として、令和4年11月から令和5年3月分までの市立小中学校児童生徒の学校給食費を免除することにより、保護者の経済的負担を軽減するための財源更正)

10月臨時会で審議した議案に対する賛否の状況

議 案 名	松井道信	藤原正伸	尾崎里美	吉田俊平	加藤貴之	関綾乃	森下恒夫	嵯峨山博	水田文夫	藤本邦彦	森田龍司	浅田郁雄	日下茂	横尾正信	足立義美	淵本稔	上田幸広	西本英輔
令和4年度朝来市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

12月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議 案 名	松井道信	藤原正伸	尾崎里美	吉田俊平	加藤貴之	関綾乃	森下恒夫	嵯峨山博	水田文夫	藤本邦彦	森田龍司	浅田郁雄	日下茂	横尾正信	足立義美	淵本稔	上田幸広	西本英輔
但馬広域行政事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市職員の給与に関する条例及び朝来市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市特別職の常勤職員の給与条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市消防団員の定員、任免、服務及び給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市畜場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市あさご芸術の森多々良木交流館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市下水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市営住宅枚田住宅改善工事請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度朝来市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○ 反対した議員は× 欠席した議員は欠 ※議長には通常、表決権がありません。

総務常任委員会調査報告

公共交通施策について

【調査の概要】

デマンド(予約)型乗合タクシーについて丹波市を視察し、調査を実施した。

現在、10人乗りの車両13台を運用し、デマンド予約センターの業務は丹波市商工会が、運転業務は市内タクシー業者6社が担っていること等を確認した。

【委員会のまとめ及び意見】

デマンド型交通は、運行方式、運行ダイヤ、乗降地の自由度などの組み合わせにより、様々な運行形態が考えられる。地域住民の移動需要、地形や道路状況、鉄道や路線バスなどの基幹交通との関係など、本市の特性を踏まえて、適切な運行形態を判断する必要がある。しかし、最も重要なことは、制度設計にあたり、主たる利用者や利用目的をどのように設定するかである。

丹波市の地域公共交通に係る計画策定の特徴は、事業の対象

である高齢者の需要と要望を正確に調査、把握するため、65歳以上の高齢者へのアンケートや各種団体との意見交換、説明会の開催など、丁寧な取り組みを行ったことにある。その過程で、バス停に限定されない自由な乗降、医療機関へのアクセスなど、高齢者をはじめ移動困難者の具体的な需要を聞き取り、乗合タクシーの導入が決定された。これらの経過は、今後の本市の地域公共交通体系における移動手段の評価や選択、制度設計について、大いに参考とすべきである。



▲デマンド予約センターの見学(丹波市)

文教民生常任委員会調査報告

多文化共生に

関する事項について

【調査の概要】

あさご日本語教室の学習方法及び、学習者同士、ボランティア支援者、地域の方々との交流について当局からの説明を受け、学習者への質問と意見交換を行った。

市内の山東地域以外で生活する外国人や事業所から、「あさご日本語教室」に参加したい(させた)が、会場が遠いため参加が難しく、他の地域で開催してほしいという要望がある。また、技能実習生は車を所有しておらず、通う場合は徒歩又は自転車となり、送迎が可能な事業所はごく一部である。

【委員会のまとめ及び意見】

朝来市連合国際交流協会が開設している日本語教室の実情は、調査概要のとおりである。

現在、山東地域1ヶ所で行っているが、会場が遠いために通

いたくても通えない人がいることが分かっている。人権推進課では市の南部で新たな教室を開設するため、国の補助金等を活用して、支援ボランティアの募集や育成、コーディネーターの増員等を計画している。そのためには、市民全体に多文化共生の意識を高めることが重要である。新たな教室の開設と合わせて、多文化共生の広報・啓発をより一層充実させたい。



▲現地視察の様子(あさご日本語教室)

産業建設常任委員会調査報告

水稻推進の取組み及び米価の現状、工業団地・企業誘致の取組みについて

【調査の概要】

水稻推進の取組みについては雲南市及び奥出雲町を、米価の現状については幸南食糧株式会社（大阪府松原市）を、工業団地・企業誘致の取組みについては小野市を視察し、調査を実施した。

【委員会のまとめ及び意見】

水稻推進の取組み及び米価の現状

朝来市は地理的条件等から良質な米を栽培できる地域であり、自信を持って販売できるお米は既に有していると考ええる。しかし、問題はこの品質が価格に反映されないことである。価格を上げるためには、他地域産米との差別化を図り、さらに付加価値をつけてPRしていく必要がある。

朝来市では、農地の担い手不足、耕作放棄地の問題など、多

くの問題を抱えているが、将来的に持続可能な農業を考える上で、米の販売価格や買取価格の上昇は重要な要素である。今後、朝来産米の差別化を図る取組みや新たな販路開拓、JAと価格に関する協議を行う等、価格を上げるための取組みを進めるべきである。

工業団地・企業誘致の取組み

小野市では、トップの明確なビジョンの下、工業団地の整備や企業誘致に限らず、まちづくり全体を着実に進められていると強く感じた。

朝来市においても将来のビジョンを持って、まちづくりを進めていくべきである。



▲ブランド米の説明を受けている様子（幸南食糧株式会社）

議会広報特別委員会調査報告

付議事件調査について

【調査の概要】

付議事件として例示されている調査事項に加え、広報広聴機能をより充実させるための調査及び常任委員会化の調査を行った。

【委員会のまとめ及び意見】

議会の広報広聴は不可分であることから、現在の広報と広聴を二分している現状を改め、広報の原点であるパブリック・リレーションズに立ち返り、広報広聴機能を一つの委員会に一元化すべきである。その際の名称については、広報広聴委員会とすべきであり、3常任委員会から委員を2名ずつ（副議長を含む）として選出すべきと考える。

広報広聴委員会に広報及び広聴事務を一元化するため、広報発行業務の一部であるデザインの外委託や受託者とのシームレスな業務を実現するためのソフト導入、また人事異動に伴う

編集技術の低下を来たさない業務の標準化など議会広報発行に係る業務を効率化すべきである。その際には、なるべく費用負担が少なくなるような検討も考慮されたい。

議会事務局体制は、議会広報広聴の常任委員会化に関し、議会の広報広聴機能や事務局の庶務を集約化し、事務局庶務規程第2条第19号「議案及び審議事項の調査に関すること」をより充実させるよう、必要となる人員の加配を議長に要請したい。最後に、広報広聴委員会の常任委員会化は、令和4年度3月定例会中に実施されたい。



▲オンライン視察の様子（石川県白山市議会）

議会閉会中も所管事務調査に取り組んでいます

産業建設常任委員会

閉会中の調査研修会として、10月に岡山大学経済学部中村良平教授をお招きして、「まちづくり構造改革による朝来市の経済成長戦略について」の講話を当局と一緒に受講し、終了後に開かれた意見交換会では熱心な意見が飛び交われました。11月には島根県雲南市・奥出雲町、大阪府松原市へ水稻推進の取組み（ブランド米）について、兵庫県小野市へは産業団地の取組みについて、それぞれの管外視察を実施・調査しました。



▲仁多米のカントリーエレベーター（奥出雲町）

総務常任委員会

生野庁舎等整備事業に関する事項、自治基本条例の検証に関する事項（3回）、文化会館自主文化事業に関する事項、防災計画及び災害対策に関する事項（2回）、起業人財交流館の運営に関する事項、公共交通施策に関する事項の所管事務調査を5日実施し、丹波市へ「デマンド型乗合タクシーについて」の管外視察を1日実施しました。

また、全議員に対して自治基本条例の検証に係るアンケートを実施しました。



▲委員会での協議の様子

議会運営委員会

9月7日、9月12日、9月27日、10月11日、10月21日、11月14日、11月30日、12月16日、12月26日に、朝来市自治基本条例の検証について、閉会中の調査事項について、陳情の取扱いについて、議案説明会の会場について、意見箱の意見について、議会日程について、議案の取扱いについて、請願の取扱いについて、特別委員会の設置について、議会運営委員会を開催し、それぞれ協議しました。



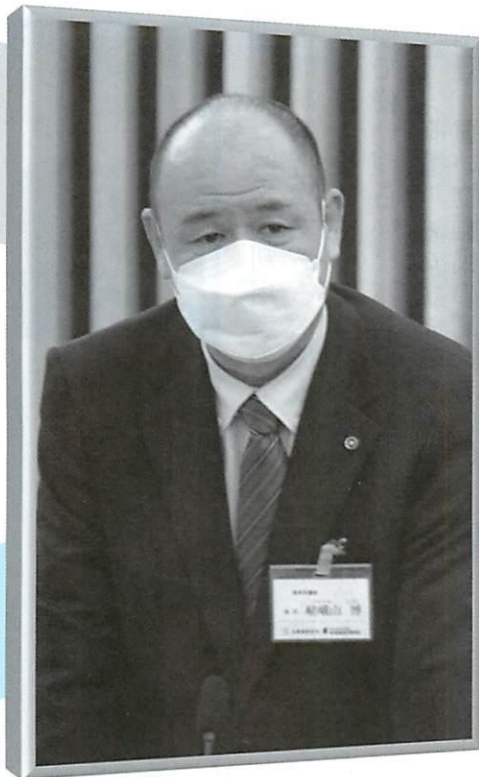
文教民生常任委員会

10月18日に多文化共生に関する事項として、現状と課題を調査するため山東生涯学習センターで開催されている、あさご日本語教室の現地視察、意見交換を行いました。

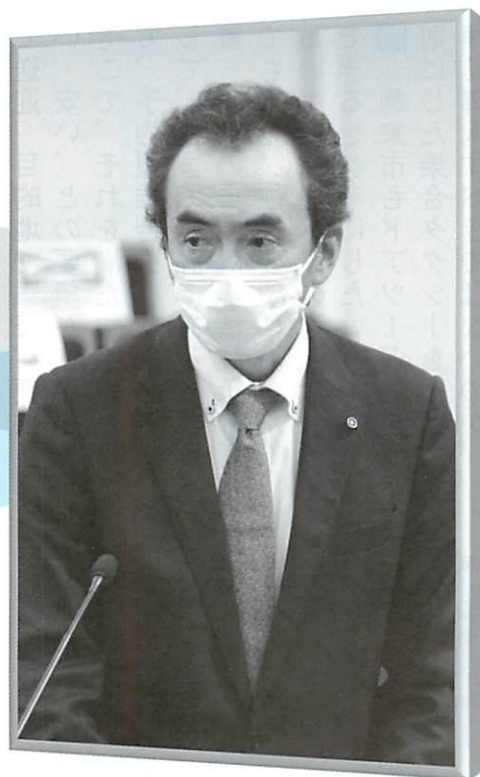
また、11月10日にヤングケアラーに関する事項として、対象者数の把握、支援状況等について調査を行い、子育て支援（ファミリー・サポート・センター事業）に関する事項については、今後の運用内容等について調査を実施しました。



▲学習者との意見交換の様子



市政を問う



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容と写真は各議員が560字以内にまとめ提出したもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

◎戸籍の不正取得



代表質問

市民の人権を守るため
条例制定が必要

清風の絆 洲本 稔



問 インターネット上の差別煽動や、行政書士等による戸籍謄本の不正取得等、市民の人権を脅かす事件が横行しています。本市においても、ネット上にプライバシーをさらされた事実があり、2年前から指摘しているが人権推進課は動かない。市民の人権を守る気はありますか。

答 そのような事実は把握しておりませんので、早急に確認します。

問 先進自治体に学び、本市においても「人権文化を推進する条例」を制定する必要があると思いますが、市長の覚悟を問います。

答 人権文化の根差したまちづくりの推進に、全力で取り組みます。

◎行政の公平性

問 生野庁舎の建て替えは、市の公共施設木質化のシンボリックな建物にすることが必要です。国はグリーン・トランスフォーメーションを進めるため、CLT

工法による建築をめざす方針を明らかにしています。県も同様です。市は鉄骨とすると逆行していますが、1業者に頼らず相見積もりをとり行政の公平性を保つべきです。

答 1業者に各工法を比較していただいたが、複数の業者から調査するのは費用対効果の問題もあります。

問 朝来医療センターに、市民要望が強いMRIを導入すべきです。

答 豊岡病院に要望しています。



▲建替えられる生野庁舎



代表質問

予約型乗合タクシーを

早期に全面導入しよう

自由倶楽部 横尾正信



代表質問

ビジョンを示し時宜を

捉えた市政の舵取りを

朝来市創生の会 藤原正伸



問 アコバスの利用者の大半は後期高齢者層である。彼らにはバス停で乗降するアコバスは不便で使いづらい。バス停はバリアー(障害)なのである。移動困難、買い物難民の高齢者に最も適した移動手段は何であるか。

答 社会全体でそのための仕組みづくりに取り組む必要がある。

問 解決する手段は、ドアツードアの乗合タクシーである。先進事例の岡山県総社市を紹介する。総社市では、十年前に高齢者アンケートを実施し、自宅まで送迎、目的地で乗降、便数多い、安い、との要望が多かった。そこで、それを満たす手段として、予約型乗合タクシーを導入して、今まで好評であると言う。

答 移動の自由は経済政策の面でも重要。住民要望に沿った新しい生活交通手段の導入は評価できるし参考になりたい。

問 朝来市もドアツードアを原則にした乗合タクシーを一刻も早く導入すべきではないのか。



▲総社市の「雪舟くん」

答 今後、デマンド型乗合タクシーを導入しようとする際には、バス停を残すのか、ドアツードアにするのかは、さまざまな面から検討を進めたい。

問 アコバスのコストは高すぎる。年五千万円も投じ、一乗車四千八百円。アコバスを全廃し、その予算で乗合タクシーの早期全面導入に踏み切るべきだ。

答 アコバスの利用は多くない。今後アコバスの在り方は、廃止も含め新しい手段の導入と一体的に検討していきたい。

問 本市の持続的経営を担保するため、今、行財政改革に道筋をつける必要。朝来市創生の会は既に議員定数削減に繋げる議論を進めている。議会も含めた行政体制全体の減量化が不可避。

答 行財政改革大綱に基づき業務改善等の課題に取り組んでいる。まだ道半ばではあるが着実に進める。行財政改革関連の政策には、私のリーダーシップの下でしっかりと取り組んでいく。

問 今後の医療介護需要の変化に備える住居政策が必要。人口減少、高齢化時代にふさわしいコンパクトな住生活環境を整備し、地域包括ケアによるエイジング・イン・プレイスを実現する拠点整備に向けた政策誘導を。

答 生活支援、サービスの提供施設を中心としたネットワークによる住環境整備の考え方については、住宅及び介護のニーズを把握する中で関係部局と連携し、民間整備の誘導も含め検討する必要があると考えている。



▲市長のビジョンは市民や職員に届いているか

問 市長のリーダーシップとは常に明確なビジョン、メッセージを示すこと。市民協働を視野に持続的行政経営を可能にするため、市政運営を支える職員及び行政組織、協働すべき市民や地域団体には何を期待するか。

答 市民には主体的な活動を進め、地域コミュニティ充実等の基盤づくりへの寄与を期待する。職員は市民に寄り添い柔軟かつ的確に対応し、各組織は連携をとって総合力を発揮する。職員の育成、組織の強化を図りたい。



個人質問

住んでよかった朝来市に！

関 綾乃



○ふるさと教育について

問 学校でふるさと・朝来市についての教育は行っているか。

答 第3期朝来市教育振興基本計画でふるさとに愛着と誇りを持つ教育施策を展開し、あさごドリムアップ事業に取組んでいる。

問 「古(いにしえ)を知識として学ぶことも非常に重要である。文化財保護やその活用は。」

答 朝来市歴史文化基本構想を策定している。ふるさとを愛する人づくりを目指す中で次世代が地域を知るための教材として文化財を活用していく。

問 (公財)但馬ふるさとづくり協会が実施する但馬検定を市民の生涯学習に取り入れてみては。

答 生涯学習につながるものと認識している。

○18歳未満の市民への医療費助成について

問 本市に住民票がある18歳未満の市民へ医療費を助成しては

どうか。

答 入院医療費は自己負担分を無償化している。外来の負担分について実施する場合は、軽減する内容や対象範囲等を総合的に判断し適正な時期に導入して参りたい。

○ふるさと朝来市の地を学ぶについて

問 U・孫ターナー氏が朝来市に戻りやすいように空家利用について改修工事費用の補助割合を高める等の優遇措置はあるのか。現状では設けていない。



▲「但馬検定テキストブック」



個人質問

「教育の振興を！」

吉田 俊平



問 教育長は来年に任期が満了される、任期中の総括を。

答 平成29年にこの職に就きまして5年6か月余りの間になりましたが、平成29年度に史跡竹田城跡整備基本計画を策定し、令和元年度に第3期朝来市教育振興基本計画を策定し、令和3年度に朝来市立学校の在り方に関する方針というものを取りまとめ、さらに、適応指導教室、いわゆる「すまいるルーム」を開設し、令和4年度はファミリースポーツ・センターの取組みをスタートさせ、国際ハンザキシンポジウムも開催しました。

問 将来の教育をどういう者に担ってほしいか、若しくは後進を育てようとお考えになつていらっしゃるのか。

答 非常に微妙な御質問でございますので、今は明確にお答えすることができません。

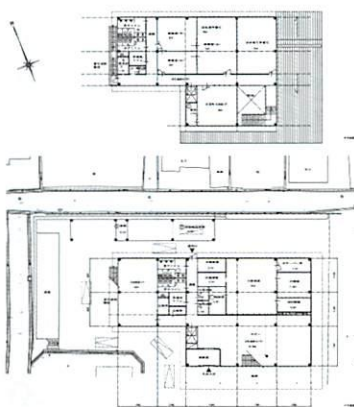
問 AIドリルなど、副教材のタブレット活用を推進すべきと考えるかどうか。

答 子供たちの学力向上、学習支援に有効なタブレット教材としてAIドリルを活用したい。

問 PTAクラウドの導入を。

答 PTAとも色んな面で協力・協働し学校教育を進めたい。

問 生野分庁舎に生野図書館を整備すべきではないか。



▲生野分庁舎に生野図書館の整備を！



個人質問

市民にやさしい生活を

浅田 郁雄



個人質問

生活困窮者対策等の充実を

足立 義美



問 国民年金受給者の介護保険料は免除する事はできないか。

答 公費負担を含め全ての国民皆で負担するという介護保険制度の趣旨から、保険料減免においても三原則が設けられており、保険料の全額免除はしないこと、負担能力を収入のみで判断し、一律に減免しないこと、減免分を一般会計から繰入れ補填しないことなどの取扱いがされている。一律減免はできない。

問 活動実績の乏しい団員(ゆうれい団員)にも報酬を支払うのか、又現在の団員数で火災等への対応が来ているならゆうれい団員は必要ないのではないか。

答 令和5年度から個人支給を行なっていきたいと考えている。現在の団員数では足りないもので、今後も消防団の強化、団員確保に力を入れたい。

問 運動器具の整備は大丈夫か、運動施設の雨漏り等はないか。

答 運動器具については定期的

に点検をし、不具合があれば至急に確認して修理をしている。雨漏りの場合は若干の時間をいただき修繕対応にあたっている。

問 除雪の対応と除雪機の台数増加について進捗状況を聞く。

答 除雪については、新たに7者の事業者が除雪作業に従事していたたく事になり、小型除雪機については、3台の除雪機を配備する。

問 補聴器の補助金制度は進んでいるのか。

答 市独自の助成制度は前向きに取り組んで行く。

▲介護保険料全額免除を
求める『白紙の抗議』

●国民年金に加入を

問 現在、生活保護を受給されている世帯の内、国民年金に未加入の世帯及び満額受給でない世帯はどの程度あるか。

答 全89世帯中、国民年金に加入していない世帯が16世帯、国民年金が全額支給されていない世帯が64世帯ある。

●母子家庭等の相談支援状況

問 令和3年度の自立支援員の相談結果によると、就労について28件の相談が寄せられ、その全てが解決済みとなっているが、実態はいかがか。

答 求職等の相談は、ハローワークと連携しながら就労のサポートを行っている。就労が決まった方は7人、資格取得につながった方は3人ある。就労が決まっていけない方にも自立支援プログラムを策定し支援している。

●ひきこもり対策の充実を

問 ひきこもり対策事業で現在は、居場所いろはを業務委託している。新年度は、別の対応を

検討中とのことだが、状況はいかがか。

答 来年度は、現在開設の居場所の充実とともに当事者や家族への相談業務、訪問事業についても、充実を図りたい。

●子ども食堂に支援を

問 市内で子ども食堂が運営されているが、市として何か支援する考えは。

答 県補助制度などの情報提供をしているが、フードバンクや他団体との連携が必要なら取組みに對し支援したい。



▲子ども食堂(イメージ)



▲「鉱石の道」を世界遺産に
神子畑選鉱所
インクライン

○世界遺産登録をめざせ
問 「鉱石の道」一五〇年(二〇三五)を目指し世界遺産登録する活動の展開を。
答 世界遺産認定に向けて取組まれている佐渡金銀山等と交流、情報交換などを行って、実現の可能性に向けての取組みは必要でないかと考えています。
○おせっかいを焼く、取組みを
問 悪質な滞納者は稀である。滞納している市民の状況を総合的に把握し、生活再建を踏まえた上で支援を行いながら納税につなげる。家庭訪問する際に、生活相談に乗る等、市民に寄り添い、おせっかいを焼くことが大切である。条例制定を。
答 相談事業のほか、住宅確保

給付金、一時生活支援事業などにも取り組み、庁内各課とも連携を取り支援をしています。法律の範囲内で現在是对応しており、市独自の条例制定、制度については考えておりません。
○木質バイオマス発電所操業停止
問 市内にある関西電力の揚水発電所、木質バイオマス発電所、生野マイクロ発電所は、脱炭素時代にふさわしい施設です。ウツドショックでバイオマス発電所停止、廃止ではなく、次の事業者を求めるべき。
答 事業継続に向け、譲渡先を探されている。譲渡先が決まり、しっかりとしたバイオマス発電を進めていく、継続していただくことを望んでいる。

○八鹿病院の分娩終了に対して
問 市長はどう受け止めたか。
答 安心できる出産環境づくりに取り組んでいる中の出来事で、非常に重く受け止めている。
問 求められる対策は。
答 健診・出産で遠方への移動を余儀なくされる妊婦の方々の負担と不安を軽減したい。
○朝来医療センターの妊婦健診
問 実現の見通しと課題は。
答 豊岡病院組合は応援医師の確保を前向きに検討している。その上で助産師、診察室、超音波機器等の確保が必要となる。
○救急車の利用について
問 出産に救急車を使う基準は。
答 出血や激痛がある場合、分娩進行が早く移動手段がない場合は産科の指示の下、救急車の利用も考えうる。
問 あさごし子育てガイドブックに救急車利用について掲載を。
答 出産の心構えや準備、救急を要する場合について掲載する。



▲タクシー事業者との連携体制
(兵庫県猪名川町)

問 タクシー事業者の課題は。
答 出産時に送迎可能な事業者は市内11事業者中3社のみ。台数の制約や夜間の体制、出産の専門知識が課題である。
問 市と消防本部・タクシー事業者の連携による24時間「出産ヘルプダイヤル」を提案する。
答 提案内容に課題は多い。市として方策を練りたい。
問 健診・出産の交通費補助を。
答 前向きに検討したい。



個人質問

住み続けたい

元気で美しい朝来市

水田 文夫



個人質問

100%安心できる出産環境を

加藤 貴之





個人質問

安全安心の朝来市へ

尾崎 里美



○コロナ関連について

問 2価ワクチン開始により従来型ワクチンの予約のキャンセルはどの様な状況だったのか。

答 合計1350人の予約枠を準備していたが1069人の接種に留まった。

問 破棄されたワクチンはどれ程あったのか。

答 9月のキャンセルでは破棄する様な事はなかった。

問 生後6ヶ月から4歳までのお子さんの接種状況はどの様になっているのか。

答 約800人の対象者の希望調査を行い約50人の希望があった。

問 感染者が安心して療養出来る体制作りをどう考えているか。

答 しっかりホームページ等で記載し自宅療養が安心して送れるよう周知していきたい。

○送迎バスの安全対策について

問 度重なる園児の送迎バスによる事故。朝来市でも、旧町時代にあったと聞く。安全対策は

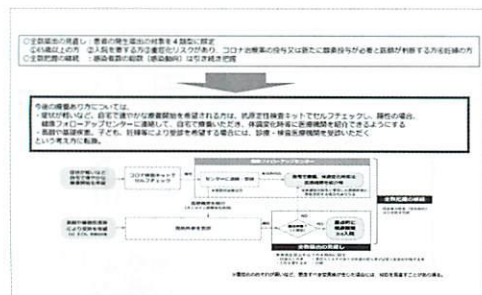
どうされているのか。

答 送迎時の状況をしっかりと確認して安全確保の為にチェックリストを見直して事故が起らないように取り組んで行きたい。今後、こども園の業務システムの導入を予定している。

○さらさら連絡網メールについて

問 朝来市は送信のみとなっているが、確認ボタン等利用し保護者がメールを見たのかを確認出来るようにしてはどうか。

答 今後、研究課題として取り組んで行きたい。



▲新たな療養の考え方(厚生労働省)



個人質問

朝来の活力ある

まちづくりを拓く

森田 龍司



○令和5年度予算編成について

問 地方への財政支援の縮小や人口減少や高齢化による税収の減収も予測される中で、市政における財源確保は大変重要な問題と考える。市長に見解を聞く。

答 地方創生による人口政策や経済振興、市税の収納率向上、使用料・手数料の見直し、ふるさと寄付金による外貨獲得など持続可能な財政運営を可能にする財源確保を図っていく。

問 人口減少や少子化がさらに進むと、これまで行われてきた行政サービスを維持することが困難になる可能性がある。限られた財源・人材の中で、インパクトのある事業と行政課題の解決には、ふるさと納税、クラウドファンディング、PFS・SIBなど官の領域に民間からの投資と力を利用して社会活動の解決をしていくことについて。

答 今後は、厳しい財政の中で民間の資金を活用し、民間の力を声聴きながら進めていかなければならない認識をしている。

地域経済の活性化における外貨の獲得や、ふるさと納税、クラウドファンディング、PFS・SIBなどの仕組みを利用することが、今後の市政の戦略になると考える。市長の見解は。

答 質の高い行政サービスや地域の活力を維持するには、財源の確保が必要である。指摘のPFS・SIBについても、財源の確保や行政改革の観点からしっかりと研究を進め、実効性のあるものは積極的に取り組む。

○子育て支援について

問 女性の方が就職したいが、職が決まっていなかったため、こども園に入園させられない。また、職場復帰しようとしても年度途中の入園ができない問題がある。どのように考えるか。

答 求職中は常時保育を必要とする事由に該当しないため不承諾となる。令和5年2月よりファミリー・サポート・センター事業を開始する。利用いただきたい。また、毎年11月に翌年度の入園申込みを受付けており、年度途中入園児として申込みも可能である。しかしクリアしなければならぬ課題もあり、保護者の希望が叶うようなシステムを考えていきたい。

問 子育てがしやすい街について、どのように考えているか。

答 妊娠期から出産、子育て期と切れ目のないサポートができるよう、各種事業の見直しを行い、翌年度に向けて調整を行っている。地域や学校、事業者、行政



▲来年は二人ともこども園に通えるかな？

などが一体となり、子育て・子育ての支援を取り組み、子どもたちの笑顔でみんなで喜び合える朝来市にしていきたい。

○職員の待遇について

問 良質で安定した行政サービスの維持・向上のためには会計年度任用職員も重要な担い手である。賃金の上限を廃止しては。

答 地域の民間企業の賃金水準の状況等も十分留意し適切に設定する必要がある。近隣市町の状況等も考慮し、適切に対応していく。

○朝来市林政への提言

問 「あさぎ森」とは何か。

答 今後の朝来市の森作りの基本理念を表現したものであり、第3次朝来市総合計画の方向性を示したものである。

問 市内森林の間伐必要面積と施業実績は。問題はないのか。

答 市内の間伐必要面積は13,200ヘクタールで、ここ3年間で150ヘクタールの実施。今年度から倍増する計画ではあるが、限界があると感じている。

問 切り捨て間伐が依然として多く実施されているが、間伐材は搬出すべきルールではないか。

答 搬出のための作業道開設単価が安く、改善できていない現状だ。そこで国に対して単価増額の要望をしているところだ。

問 フォレストスターなど森林の専門家を市の林政担当に配置し、計画も作るべきではないか。

答 専門職員の配置については、従来から課題との認識はしているがうまくいっていない。この



▲切り捨て間伐実施の森林

度発表する予定の「森林ビジョン」では、有識者に参画依頼し、適宜御指導を頂きながら対応させていただいた。

問 市内には安全で安心して遊べる山がない。そのために市民の杜を作ってはどうか。

答 市内の森林は手入れ不足で、かつてのように気軽に入れる森林は限られている。自伐型林業を推進する中で、市民の手によって市民が気軽に入る事の出来る森林の整備も進めていけたらと考えている。



個人質問

幸せが実感できる
まちの実現を

嵯峨山 博



個人質問

朝来市の林政について

松井道信





個人質問

美味しい水と豊かな自然と
農業を守る取組みを

藤本邦彦



○水道水の異臭について

問 与布土浄水場からの水道水がひどい臭い。異臭の解消を。

答 与布土ダムにおいて貯水率低下と夏の高温の影響で大量に発生した藻、植物プランクトンから異臭物質「ジェオスミン」が産生され、通常の浄水処理では異臭が取りきれない。

今現在、異臭を解消する設備を導入する準備を進めている。

○豊かな自然は朝来市の宝

問 和田山高校生が朝来市内の川で魚類を調査し、まとめた『淡水魚ずかん』を作った。策定を目指す生物多様性地域戦略の手法とすべき内容。感想は。

答 市内の魚類についてまとめた初めの資料。高校生と指導頂いた先生に敬意を表したい。きちんとまとめてアウトプットすることの社会的意義を再認識した。当市では生物に関わる基礎データの蓄積が不足している。今後の活動にも期待する。

問 生物多様性地域戦略の策定



▲和田山高校生が作った『淡水魚ずかん』

作業をどのように進めるか。

答 生物多様性地域戦略の重要性は認識している。県内の自治体においても少しずつだが策定されてきている。市民にとって有益な戦略となるよう取組む。

○農業を守るために

問 学校給食に地元産有機農産物を。契約農家増やす取組必要。

答 本市の有機栽培であるコウノトリ米から順次とり入れていきたいと現在検討している。他の野菜についてもまずは地元産の割合を増やしていきたい。



個人質問

暮らしやすいまちのために

上田 幸広



○中小企業振興条例について

問 近隣自治体の中小企業振興条例制定の状況はどうか。

答 但馬管内では、本市を除く2市2町で制定されている。

問 朝来市においても早急に条例制定をすべきではないか。

答 振興条例の目的、意義を十分に検証し第2次朝来市経済成長戦略策定の戦略会議で委員の意見を聞き更に研究していく。

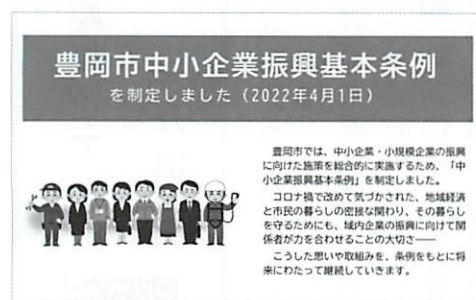
○認知症対策について

問 認知症行方不明者の早期発見に繋がる「認知症高齢者等SOSネットワーク事業」での協力者を増やす為、認知症サポーターに登録を依頼できないか。

答 認知症サポーター講座受講生に積極的に登録を勧める。

問 徘徊の可能性のある方にGPS発信機を携行する「GPS端末対応事業」や認知症の方が誤って事故を起こした際の為に「認知症傷害賠償保険制度」を創設すべきではないか。

答 認知症対策を総合的に進め



▲令和4年4月に制定された豊岡市中小企業振興基本条例

る上で、前向きに検討したい。

○健康づくりポイント事業について

問 若い市民の参加を増やす為にスマホでの健康ポイントアプリを導入し現在の紙媒体との併用をしてはどうか。

答 今後、全市民的な取組になるようデジタル化を推進したい。

○エシカル消費について

問 エシカル消費(人や環境、地域に配慮した消費)について市民に広く周知すべきでは。

答 普及啓発していきたい。

○スポーツ観光で交流人口増を!

問 朝来市には、スキー場、海水浴場、陸上、プール、サッカー等の公式施設が無いので、子供たちは夢や希望を持ってない上に交流人口、消費人口の増加も見込めない。W杯で日本選手が活躍し、感動と憧れを与えてくれた。スポーツ観光で価値が高く活力ある朝来市を作る気はないか。

答 公認施設は多額の維持費がかかる。話や要望はあるが、市内に公式施設は無く、アスリート派遣事業で支援したい。

問 指導者も大切だが、記録があるから夢や希望が生まれる公式施設は青少年の育成成長に大きな影響を与えると考えるが。

答 指摘の通り、公式施設での活動は、貴重な体験になるし、県の体力アップ事業と合わせて公認競技体験は望ましいことと考える。



▲官民連携でまちづくり

問 スポーツ観光で、地域に活力を生んでいる例を紹介すると、串本町は山間部を造成し、野球、陸上、サッカー、テニス、水泳の公式競技場を整備し、ホテルを誘致して活力を生み、百年間人口維持の綾町、山間部活用之光都、体育の町市島は、民間を活用し、サッカー合宿で活性化している。官民連携で実施を。

答 施設が在れば人が集まり、感動や活力も生まれる認識でいる。

○稼働停止の経過は

問 関西電力は朝来バイオマス発電所の稼働停止を11月30日、突如として発表した。既に民間では噂が飛び交っていたが、市は何らの公表もしなかった。一連の動きについて詳細な報告を求める。

答 7月5日に県森連が、26日に県が来庁され協定の見直し、事業継続は困難と報告を受けたが、公表は控えてほしいと要望があった。

問 市民や議会に報告しないのは信頼を損なう。

答 県から公表は控えてほしいと言われている。

問 他のバイオマス発電所は稼働しているのに、なぜ朝来だけが稼働停止になるのか。

答 森林の未利用材だけを買収する契約に、脆弱性があった。

○再稼働と従業員の雇用

問 工場の土地は20年間2億円の賃貸契約だが、これの取り扱いはどうなるのか。



▲稼働停止されたバイオマス発電所

答 工作物が存在する間は、賃料相当賠償金として請求する。

問 森林整備の促進、早期の再稼働、そして従業員の雇用を守ることが重要だ。

答 今後も林地残材の搬出には支援を継続する方向で調整する。アドバイザーに譲渡先を探してもらっているが、従業員の雇用については譲渡の条件とされている。

問 今後は、議会に経過・情報を報告すること。

答 報告はさせていただく。



個人質問

スポーツと観光で
新しい価値の朝来市を

日下 茂



※緊急質問※

バイオマス発電所の
早期再稼働めさせ

淵本 稔



本は人生のおやつ!!

by ほんおや

(川原町区在住)

○移住のごきつかけは?

店舗兼住宅と田舎暮らしをしたくて、4、5年を掛けて移住先を探していましたが、市外の不動産屋さんで「朝来市が良いんじゃないですか」と言われたことがきっかけとなりました。

また、移住に対する補助金も移住の決め手になりましたし、市役所のあさご暮らし応援室の職員の方にも大変お世話になりました。

○移住のご不満やご感想は?

特に不満はありませんが、強いて言えば、大きな美術館がなく芸術に接する機会が少なくなかったことと、仕事関係のイベント参加が少なくなりました。ただ、近隣の方に色々とお世話して貰っており、非常に助かっています。

また、矢名瀬町には強く魅力を感じ惹かれており、皆さんには温かく受け入れて頂いている



▲お気軽にお越しください！
お待ちしております！

と感じています。

○お二人のお仕事は?

私はイラストレーターを、妻は本屋『本は人生のおやつです!!』の経営をしています。

○『本おや』さんではどのようなことをなさっておられますか?

新刊図書の販売と、古書の販売、雑貨の販売に、古書の買取りを行っています。

○今後になかなさりたいことなどありましたらお聞かせ下さい。

イラストレーターとして朝来市のPRに繋がる何かをしたいなと思っています。

朝来市議会へ ご意見をお寄せください

朝来市議会では、皆さんからの多様なご意見を議会活動へ反映させることや、議会の広聴機能の充実・強化を図るため、令和3年5月から本庁舎（1階、5階）と各支所窓口に、『ご意見箱』を置いています。

広く、市民の皆さんからのご意見をお待ちしています。市議会に対するご質問、ご要望、ご提言など、お気軽にお寄せください。



▲本庁1階総合窓口に設置の意見箱

3月定例会の予定

月	火	水	木	金
		3/1	2	3
			本会議	
6	7	8	9	10
本会議			一般質問	一般質問
13	14	15	16	17
一般質問	産業建設 常任委員会	文教民生 常任委員会	総務 常任委員会	産業建設 常任委員会
20	21	22	23	24
総務 常任委員会		文教民生 常任委員会		
27	28	29	30	31
	予算決算 特別委員会	本会議		

傍聴など、お問い合わせは
議会事務局 TEL 672-1930